

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	つくも幼児教室		公表日 2026年3月13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	・きいの部屋の広さに対して人数が多すぎると感じることがある。・狭いと感じる部屋がある。	来年度のクラス編成を検討していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	日によってもう一人いるといいなと感じることがある。	クラスを歩き来する職員の活用をしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	9	・少しずつ工事が進んでいて、よりよい環境になっている。・階段はあるが手すりの設置等工夫がなされている。・室内の段差等気を付けながら工夫しつつ使っていく。・バリアフリー化の整備はまだ必要などところがある。・段差でのつまづきが多く、保護材で応急処理しているが根本の改善ができるとよい。・各部屋との連絡や事務との連絡をとる環境整備がなされるとよい。	引き続きバリアフリーに近い形をすすめていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	5	・トイレがもう少し明るくきれいになるとよい。冷暖房の設備や水道の温水等の改善もできるとよい。・細かな部分をもう少し意識していけるとよい。・あおの部屋ときいの部屋が暗いと感じる。	照明は随時入れ替えや検討を行っていく 引き続きトイレの改修工事をすすめていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0	子どもの意思では選択できないが、子どもの状況に合わせて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	1	第3者が誰にあたるのかわからない。	第三者外部評価は銀河鉄道さんに昨年度からお願いしている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	・休日にある研修も代休が取れることで参加しやすい。・外部研修に積極的に参加できる環境になるとよい。	外部研修に参加しやすい状況を作っていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	毎月プログラムの紹介を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	クラスが半固定になったことで計画作成対象児と関わる時間が多くなるとよい。	その年度の子ども、職員等状況に応じたクラス編成をしていく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	計画の方向性についてはミーティングで検討できている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	契約職員も多く共有しきれない部分もあるため、その日の保育前に伝えていけるとよい。	子どもの様子を把握できる仕組みをこれからも作っていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0	・毎日ではないができています。・領域担当ミーティングで遊びの共有ができています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	1	・固定化しないように気を付けているが、自分の得意なものが多くなってしまふ。・固定化した方がよい(わかりやすい)部分と流動的に行う部分とを工夫している。	研修などを通して様々なプログラムを立てていけるようにしていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	4	・朝の延長保育に入っている職員や出勤時間が違い職員がいるため、子どもがいる中での確認になる。・保育前に共有できるように意識していく。	短時間でも打ち合わせができるように意識付けをしていく
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	4	意識はしているが、契約職員との反省時間が取りにくい日がある。翌日の活動前に情報を共有するようにしている。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	機会自体は少ないが、あれば担当職員が参加している。		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	・地域の保健、福祉、保育、教育等関係機関とは必要な時に連絡をとっているが、医療機関とやりとりすることはほぼない。・園への訪問支援や必要に応じて関係者会議へ参加している。	今後も必要があれば会議を開いたり出席したりしていく	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	地元の小学校に行く子どもたちへも申し送りができるように。	必要な子については通常小の子どもに対しても申し送りを行っている
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	14	0	理学療法、摂食嚥下指導、心理発達検査等で助言を得られている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	5	9	・つくものみ利用の子どもたちが地域の園と交流する機会はとれていない。 ・事業所の活動として交流する機会は作っていない。	地域の園とどのように交流していけるかは行政等と相談していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	2	・面談で伝えられることは助言したり一緒に考えたりできるように意識していきたい。 ・送迎時に関わりのポイント等を伝えることがある。 ・法人で開催する教育講演会はあるが、つくもの中で保護者向けの研修を目的とした行事は行っていない。	保護者への情報提供とする研修などを企画することを考えてもよいと思う
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	伝え方を工夫しながらしっかりと伝わるように努力している。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	2	・行事への参加人数などもあり、きょうだい同士での交流はなかなか難しい。保護者同士の交流はもう少しあってほしいと思う。 ・親子教室等の行事で交流の機会は持っていると思う。	きょうだい児への支援は、療育作業部会や他機関と協力してやることを考えていく
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0		
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	保護者に合わせてわかりやすい表現をするように努めている。	
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	0	法人で行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2	・マニュアルはあるが具体的な訓練は必要と思う。 ・月1回災害訓練は行っている。	マニュアルを踏まえて具体的な訓練は常に行っていく
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	難しいと思うが、引き渡し訓練を行ってみたい。	新年度に向けて検討する
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練その他必要な措置を講じる等安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	記載通りに自分の行動に十分気を付けていきたい。	